

仏像面貌造形の特徴分析—鼻梁の側面観造形— Feature Analysis of Buddhist Statue Faces in the Nasal Lateral View

○小林茂樹¹ 土屋晋² 藤澤隆史² 長田典子²
¹形相研究所 ²関西学院大学
kobayashi@keisolabs.com

1. まえがき

造仏活動は、紀元1世紀頃のインドに始まり、その後アジア各地の多くの民族や王国に波及し、造形様式も多様になっていった[1]。造形様式については、これまでも夥しい研究があったが、それらは主観で受止めた形状をベースに議論するので、万人が納得できる結論を得ることは必ずしも容易ではなかった。

私たちは新しい研究手法として、造仏様式の計量的解析を検討している[2]。この報告では、鼻梁造形に関する特徴パラメータを設定し、日本および中国の慈悲形仏像造形への適用を試みた。

2. 方法

2.1. 鼻梁側面観の特徴 彫像は顔面頭部に頭蓋骨の裏打ちがなく、その上デフォルメ表現もあり得るので、ヒト頭部計測点[3]の直接的な適用が困難な場合が多い。仏像の場合はさらに、白毫や長大な耳垂など特有の超人的形状があるため、私たちは、造形に適切に対応する特別な計測量の設定が必要であると考えている。

仏像の超人的形状の一つに、鼻梁の側面観における「ギリシャ鼻」状の造形がある。本研究では、この造形様式とその変異を追跡するために、下記の基準に基づいて専用の特徴パラメータを設定した。

(i) 計測の基準線が設定できること；(ii) 側面観において髪際から鼻尖まで延びる形状とその変異に対応し得ること。

2.2. 特徴パラメータの設定 (a: artificial の意)

(1) 基準線：髪際 (tr_a) から頤下端 (gn_a) に引いた直線 (tr_a-gn_a) を基準線とする。(2) 鼻尖角：基準線と直線 (tr_a-prn_a) がなす角度。(3) 鼻角：鼻尖から鼻梁に沿って延ばした直線と基準線がなす角度。(4) 眉間角：基準線と直線 (tr_a-g_a) がなす角度。(5) 鼻根角：基準線と直線 (tr_a-se_a) がなす角度。

2.3. 対象 明王、天部など憤怒形は造形表現が著しく異なるため、対象を慈悲形（如来、菩薩等）に限定した。国内2美術館が採録した側面観写真を取込み、デジタル画像上で計測を行った。第1グループは密教の観音信仰が普及し、造形が安定した平安各期を中心とする近江の観音像[4]32例。第2グループは中国の北魏期から唐期にいたる石仏頭部[5]25例。また第3の参照グループは、ヒトの側貌画像17例 (Caucasoid 7、Mongoloid 9、Negroid 1)。計74例。

3. 結果

3.1. 相対角度

鼻角、眉間角、および鼻根角から鼻尖角を差引いた相対角度をそれぞれ、RNA, RGA, RSA とした。

3.2. クラスタ分析

上記3相対角度について全74標本のクラスタ分析を行ったところ、表に示す4クラスタに分類された。それらの代表例を図に示す。

表 相対角度によるクラスタ分析 (数値は標本数)

クラスタ	近江	中国	ヒト	計	特徴
第1	17	9	0	26	鼻梁が直線的
第2	14	5	0	19	短鼻、眉間低い
第3	0	1	17	18	眉間、鼻根が明瞭
第4	1	10	0	11	過度の眉間隆起

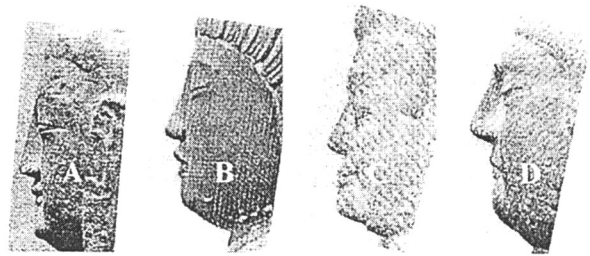


図 クラスタ代表仏 (A 第1:雲岡西洞北魏期; B 第2:西教寺平安中期; C 第3:天龍山3洞東魏; D 第4:天龍山1洞北齊)

4. 考察

仏像鼻梁形状の超人性が、計量的に明瞭になった。第1クラスタは、ギリシャ鼻系の Hellenistic Style、第2クラスタは、密教儀軌準拠の平安期 Oumiji Style、第3は、眼窩上隆起が明瞭な Human Style、第4は、日本仏では見られない超人的な Super-Glabellar Style である。

平安期近江路観音の造形が第1・第2クラスタに限られ、第3・4クラスタ型がまったくないことは著しい特徴である。これに比し、中国の造形は表現に強烈な主張があり、日本との大きな差異が認められる。

中国石仏には、時代・場所で括られる様式がある。

5. むすび

少なくとも仏像造形の研究に関しては、超人的形状に対応する独特な特徴パラメータの設定が必要であることが証明された。今後はさらに多種の特徴パラメータを設定して、仏像造形様式の計量的追究を進めたい。

文献

- [1] 佐和隆研: 佛像の流傳—イト・東南アジア編, 法蔵館, S46.
- [2] 佐々木, 長田, 小林, 稲荷: “仏像における顔の部分的特徴を用いた表情の表現方式の研究”, 平成18年電気学会全国大会, 3-033, 2006.
- [3] 人類学講座編集委員会: “人類学講座別巻1 人体計測法 I 生体計測法, 雄山閣出版, H3.
- [4] 図録 “近江路の観音様”, 滋賀県立近代美術館, 1998.
- [5] 図録 “中国の石仏”, 大阪市立美術館, 1995.
- [6] 西村正秋: “美術解剖学論攷”, 彰考書院, S23.
- [7] 埴原和郎: “日本人の顔”, 講談社, 1999.